

(様式2)

令和 7 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1592200040		
法人名	社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会		
事業所名	グループホームまの(2ユニット共通)		
所在地	佐渡市長石213番地1		
自己評価作成日	令和7年8月24日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=1592200040-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和7年10月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

○入居者それぞれが「人生の主役」として、ご自分のペースで意思を尊重した生活を送れるよう介護計画を作成し、計画に沿って職員が一体となって取り組んでいます。
○当グループホームの近隣には砂浜の海岸、朱鷺の営巣地でもある松林、公園や地区の陸上競技場、図書館があり、散歩や憩いの場として活用できる自然環境や施設が整っています。
○ボランティアの受け入れ、地区の交流行事、防災訓練への参加や文化祭への出品など地域の方々の交流を大切にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○地域と共に安心した暮らしの提供
「家庭的な環境を目指しています」の言葉通り、各ユニット入口の格子戸を開けると生け花やさりげない装飾品の傍らに事業所理念が玄関の雰囲気や壊さなよう掲示されている。木の温もりを感じさせるホールは整理整頓がされ、裁縫をする人や笑顔で寛いでいる人など、それぞれの思いで静かな時間が流れていた。事業所は住宅街から離れた立地ではあるが地域の情報を受け入れながら交流に努めている。近隣住民からは季節の野菜の差し入れがあり、地域の祭りでは鬼太鼓や大獅子が門付けに来所して利用者の馴染みの生活を展開してくれている。地域住民の一員として地区の防災訓練に事業所の避難ルートを使って訓練に参加し、地区運動会に今年度は役員として打ち合わせから参加して、利用者は見学をすることが出来た。高校生、中学生のボランティアを受け入れており、利用者と一緒に作品制作や、演奏披露での交流も行われている。また、運営推進会議の構成員として地域住民、利用者、利用者家族は複数名での参加が継続されているなど、地域、家族に支えられながら安心した暮らしが作られていた。

○防災の取り組みと地域との関り

事業所は「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を推進している。今後、起こりうる災害対策に関して火災訓練はもとより特に想定される津波・地震が一番の課題として検討をしている。佐渡市・まの地区の避難訓練に合わせて、事業所も参加している。事業所の避難経路・避難場所に関しても職員と一緒に経路の確認点検をし、実践を通して出てきた問題点を今後の課題として共有している。車での搬送時の時間の問題や非常口での混雑の問題他、管理者・防災委員は今後の課題として検討している。また管理者は地域の自主防災会の役割も担いながらも地域の防災に積極的に取り組んでいる。運営推進会議においては地域から住民代表や民生委員・家族の代表他多数の参加の中、地域交流の拠点として様々な催事にも積極的に関わっている。